

さがえ未来創成戦略の進捗状況 (効果検証)

平成29年11月

さがえ未来創成戦略推進本部

戦略における数値目標

さがえ
未来
創成

【基本目標Ⅰ】魅力ある「しごと」の機会を創出し、社会動態の改善を目指す

【有効求人倍率/社会動態】

26年度	27年度	28年度	29年度(～9月)
1.05倍/-213	0.93倍/-74	1.02倍/-92	1.11倍/30人

前年度比
48人改善

【基本目標Ⅱ】地域資源を磨いて魅力を発信することで交流人口及び定住・移住人口増を図り、社会動態の改善を目指す

【観光客数】

26年度	27年度	28年度	29年度(～9月)
343.4万人	358.8万人	374.1万人	212.9万人

【基本目標Ⅲ】結婚・出産・子育てし未来へ希望を持てる施策を充実し、出生率・出生数を向上させ、自然動態の改善を目指す

【合計特殊出生率(暦年)/出生数】

26年度	27年度	28年度	29年度(～9月)
1.48/300人	1.70/325人	-/277人	-/147人

前年度比
9人改善

I. 農業振興(さくらんぼ)

さがえ
未来
創成

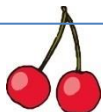
【さくらんぼ労働力確保】



- ・さくらんぼ箱詰め研修会 (28fy: 87人 + 29fy: 85人)
- ・さくらんぼボーナス (28fy: 675人 + 29fy: 1,032人)
- ・さくらんぼの木オーナー制 (28fy: 303人 + 29fy: 244人)
- ・学生ボランティア (山形大学及び武蔵野大学(28fy: 25人)/山形大学(29fy: 15人))

さくらんぼ労働力
質・量・多様性の確保

【さくらんぼ生産体制強化】



- ・産地パワーアップ支援事業及び産地スピードアップ事業(スピードスプレーヤ等)
- ・さくらんぼ作業負担軽減安全確保事業(高所作業車及び乗用草刈機)

【紅秀峰販路開拓】



- ・大都市へのトップセールスを実施(29fy大阪から東京へ変更)
- ・マレーシア及び台湾に加えて29年度には香港への試験輸出を実施

生産者や市等で構
成される海外輸出
促進協議会が実施

紅秀峰栽培面積: 27fy: 43.2ha ⇒ 28fy: 46.0ha

⇒ 29fy(9月末) 49.0ha (31fy目標55.0ha)

輸出量: 28fyマレーシア400kg/台湾178kg

⇒ 29fyマレーシア390kg/台湾150kg/香港4kg(サンプル)

I. 農業振興(稲作)

さがえ
未来
創成

【つや姫の生産拡大及びブランド化】

- ・高級ブランド米「つや姫」の最高級品質を目指して結集したプロフェッショナル集団
- ⇒「つや姫ヴィラージュ」(村長:土屋喜久夫 氏)
- ⇒つや姫ヴィラージュの拡大 ⇒ ブランド米の生産拡大へ
- 27fy : 39.6ha ⇒ 28fy : 46ha ⇒ 29fy9月末: 44.2ha(対27fy比11.6%増) ⇒ 目標(31fy) 80ha
- ・新たなブランド化への取組み
- ⇒ 新たな大粒の出荷基準として厳選つや姫ヴィラージュ「極」を設定(来年度販売予定)

【寒河江産米の販路開拓】

- ・銀座三越(山形つや姫の新米フェア)や大阪阪急など 大都市圏でのPR
- ・ふるさと納税を通じたプロモーション
- ⇒ 清流寒河江川育ちはえぬき: 28年産2,300t
- 厳選つや姫: 28年産50t



つや姫の里さがえのブランド確立と寒河江産米のブランド化

I. 農業振興(その他)

さがえ
未来
創成

【伝統野菜の振興や地産地消の促進】

☆ 伝統野菜の生産組織活動

もって菊：商品開発研修、試作品の試験販売及び包装パッケージの開発を支援

子姫芋：PRや生産組合の保存設備(冷蔵庫や真空包装機など)の整備を補助

谷沢梅：市内・市外における販促活動を支援



☆ 地産地消の推進による地域内経済の循環

学校給食：寒河江産野菜を使用したカット冷凍野菜、寒河江産つや姫やはえぬきの採用

食育：平成28年2月に木育・食育フェス(約1,600人)を開催

【新規就農者の確保/ 後継者への支援】

☆ 農業へ関心ある人へのアプローチ

①新・農業人フェア(28年度:3回、29年度上半期1回)

②ふるさと回帰フェア(28年度:1回)

③やまがたハッピーライフカフェ(29年度上半期1回) ⇒計110件程度の相談あり

☆ 就農体験ツアー初開催(28年度:2回3人、29年度上半期1回5人)

☆ 就農者受入れ及び後継者支援体制づくり(農業委員会や認定農業者協議会等との連携)

【農地の流動化の促進】

☆ 農用地利用集積の推進(28年度:398件106ha(27年度との合計:215ha))

Ⅱ. 企業支援・企業誘致



企業支援



企業誘致

平成29年9月策定

＜ふるさと名物応援宣言＞
中小企業地域資源活用促進法に基づき「さくらんぼ&つや姫&ニットの里」として宣言



＜国・市の支援事業＞
国と連携した「ふるさと名物応援補助」(2件)や寒河江市独自の販路開拓支援事業(7件)を実施

欧州などの海外を含む



＜雇用確保＞
ハローワークと連携した就職相談会を開催
※28fy: 4回/29fy: 1回/参加企業数: 延べ100社以上

東京でも開催



丁寧な情報提供

＜支援情報発信＞
国と連携した施策説明会を開催/企業支援MLをスタート(発信10回以上)

＜地域未来投資促進法(基本計画)＞
目的: **地域経済牽引事業の促進**
対象: **寒河江市**を含む県内
支援内容: 課税などにおいて**特例措置あり**

＜平成28年度: **2.2ha分譲**＞
・和光食材(業務用食品・資材卸売業)
・関宿急便(一般貨物運送業)
・東鉦商事(薬品卸売業)
・鈴木自工(自動車整備業)
＜平成29年度上半期: **2.4ha分譲**＞
・ぼんち(食品加工業)

※中央工業団地未分譲地
27fy: 19.5ha
→28fy: 17.4ha
→**29fy: 15.0ha (23%減)**



Ⅲ.創業支援



➤ 広域創業支援スキーム

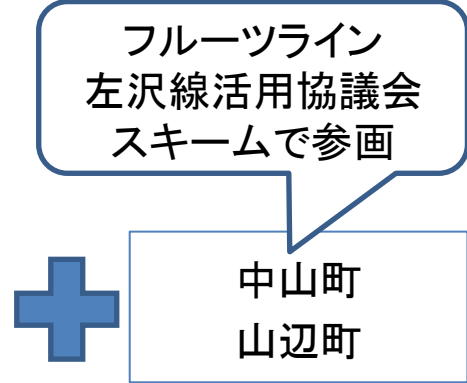
寒河江・西村山創業支援事業計画(平成27年10月策定)

寒河江市、河北町、西川町、朝日町

山形銀行
荘内銀行
きらやか銀行

山形中央信用組合
山形信用金庫
日本政策金融公庫

寒河江市商工会
河北町商工会
西川町商工会
朝日町商工会



※大江町は単独で計画策定(セミナーなどは共催)

※関係機関による創業支援連絡調整会議を開催

・1市6町による広域創業セミナー(平成29年10月14日&21日&28日)

✓ 「7時間×3日」の**本格セミナー**

✓ **金融機関をゲスト招聘**し、「金融機関から見た創業」でアドバイス



※平成28年度1市4町創業セミナー実績:2回17名参加(4月・10月開催)

・寒河江市単独事業となる**空き店舗等対策支援事業**(店舗改装及び家賃補助/9件)
及び**起業・創業支援事業**(8件)

中心市街地
空き店舗対策

IV.観光振興(観光資源の発掘・整備/外国人対応)

さがえ
未来
創成

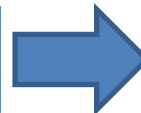
- ・市内の自然・歴史等を活かした**観光資源の発掘・整備**
- ・**外国人誘客(インバウンド対応)の推進**

➤ ガイダンス施設整備を含む**慈恩寺の観光拠点化**

- ・第2駐車場トイレ外構及び大型バス駐車場区線の整備
- ・慈恩寺ガイダンス施設の検討(史跡慈恩寺旧境内整備検討委員会で検討中)

観光客数
20万人以上

平成28年度:保存活用計画策定



平成29年度:整備基本計画策定(予定)

登山や自転車など
グリーンツーリズム

ガイダンス施設
計画に位置付け

➤ **葉山周辺の観光拠点化**

- ・葉山市民荘の給排水の整備 及び 旧田代小学校の宿泊施設建設(H30fyオープン予定)
- ・「山形のやま旅」特設サイトやパンフレットの作成(山と溪谷社と連携)

➤ **インバウンド(外国人)対応**

- ・観光パンフレットの多言語化&観光ボランティア向け研修の実施
- ・台湾への現地プロモーションの実施及び大型クルーズ船の誘致連携

庄内地域との
連携

IV.観光振興(プロモーション)

さがえ
未来
創成

【観光雑誌/パンフレット】

全国規模マスコミ
タイアップ

・「るるぶ山形」(JTB)や「まっぷる山形」(昭文社)で

「山寺+α」の観点から西村山の観光情報を発信

※山形旅行における「西村山」の知名度向上

・テーマを絞った地域資源のPR(他地域との連携)

→山岳:「月山-朝日連峰-葉山」(西村山1市4町連携)

→自転車:「やまがたフルーツ街道」(上山市連携)



【観光物産祭り(仙台)】

平成28年度に西村山の魅力を発信する観光物産祭りを1市4町で共催(メインターゲット市場である仙台/前年度は東京で開催)

コンセプト:山形県の「どもんなか」の味力がここにあり!

コンテンツ:観光紹介、名産品の物販、名産品のふるまい

及び西村山の農産物を使用した料理実演など

来場者数:約1,400人(完全招待制)

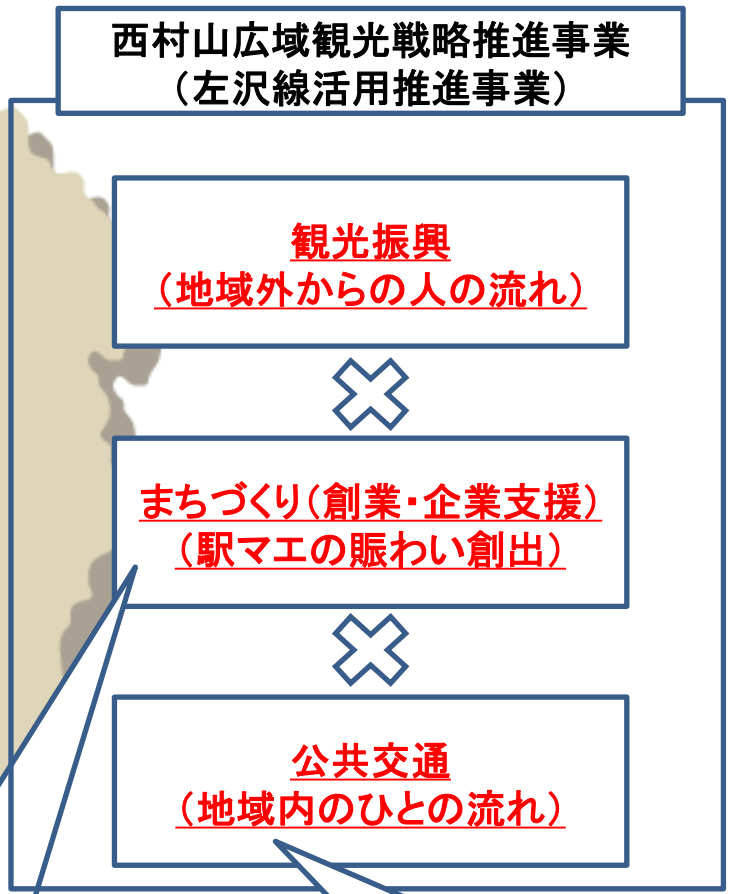


IV.観光振興(広域観光)



- ・西村山1市4町等による**西村山DMO**が西村山広域観光戦略推進事業(**データ収集、マーケティング、人材育成、創業・企業支援等**)を実施
- ・「西村山DMO+α」として**フルーツライン左沢線活用推進事業**を展開

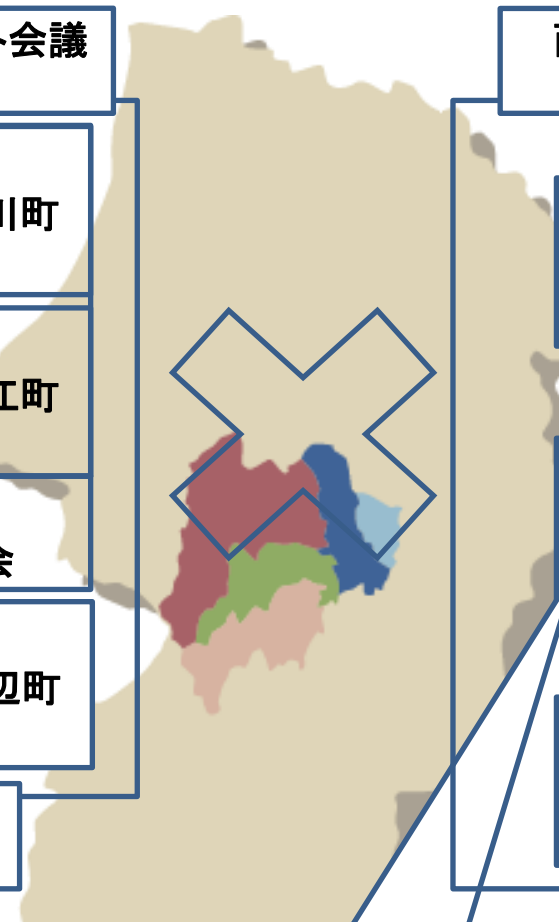
豊富な観光資源(自然、歴史、農産物)



山形新幹線山形駅から
30分圏内

金融機関や商工会など
の創業支援機関と連携

観光交流拠点の整備
2次交通の確保



IV.観光振興(集客イベント)



・数多くの観光イベントを通じ、**高いサービスを提供でき、収益性のある観光地域づくり**を行うことが必要

第3回(平成29年度)
2月2~4日開催予定

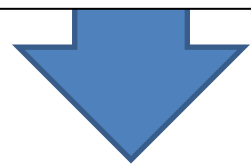
冬 やまがた雪フェスティバル
⇒「道の駅フェス」や「木育・食育フェス」などのコラボイベントと連携して、観光客数が落ち込む**冬季の大型イベント**として定着(19.1万人/3万人増)

春 スポーツ流鏝馬大会(28fy(第1回):9月開催⇒29fy(第2回):5月開催)
⇒**新たな観光資源発掘、つつじ祭りや寒河江祭りへの誘客効果**

平成28年度
初開催

初夏 さくらんぼ祭り&さくらんぼスポーツ大会(ツールド、ウォーク、マラソン、ストライダー)&**ゆめタネ(新イベント:音楽フェス(チェリフェス)&クラフトフェア(てとて市))**

秋 寒河江まつりのリニューアル(Meat de Meet、うまい!グルメフェス)
⇒グルメイベントバージョンアップ
⇒メインイベント(神輿の祭典、流鏝馬)に向けた**賑わい創出**



イベントを通じた観光地域づくりを推進

I 及びIV.農業支援×観光振興(地方創生交付金/戦略的農産物)

さがえ
未来
創成

戦略①: さくらんぼ(紅秀峰)の販路拡大支援

戦略②: 訪日外国人の受入体制の整備

「さくらんぼ」と「りんご」を核とした
広域連携プロジェクトとして認定
(国の交付金あり)

朝日町と連携した戦略的農産物を核とした
成長サイクルの確立
(販路拡大⇒生産拡大+もぎとり観光)

①農業支援

- ・マレーシア及び台湾へのトップセールス及び輸出用パッケージ制作
- ・生産性向上に資する機械導入補助
- ・労働力確保対策事業(さくらんぼボーナス事業及び低労力型雨よけハウス実証実験)



②観光振興

- ・「日本東北六県感謝祭(台北)」及び「台北国際旅行博」におけるPR(特設ステージでのさくらんぼの種吹きとばし大会など)
- ・台湾デパートでの広告掲示
- ・台湾マスメディアの招聘(TV放映+ネット広告)



IV.観光振興(地方創生交付金/自転車活用まちづくり)

さがえ
未来
創成

戦略①: 新たな観光資源の発掘・整備、西村山などにおける広域観光の連携強化、訪日外国人の受入体制の整備、四季それぞれでの集客力あるイベントの開催及び戦略的な観光振興の実施

戦略②: 子ども・子育てインフラの充実化

県内広域連携プロジェクトとして認定(ハード整備を含む国の交付金活用)

上山市と連携した自転車を活用したまちづくり

①上山市～寒河江市の自転車ルートを盛り込んだパンフレット作成

⇒大手自転車雑誌とのタイアップで「やまがたフルーツ街道」を設定

②ストライダーエンジョイカップ寒河江さくらんぼステージの開催

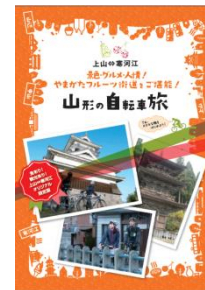
⇒モニターツアーの実施、参加者数342人(観戦1,500人規模/県外比率約60%)

③最上川ふるさと総合公園にストライダーを整備

⇒ストライダー10台をワンコインレンタル

④シクロクロスUCIレースの会場となるグリバー

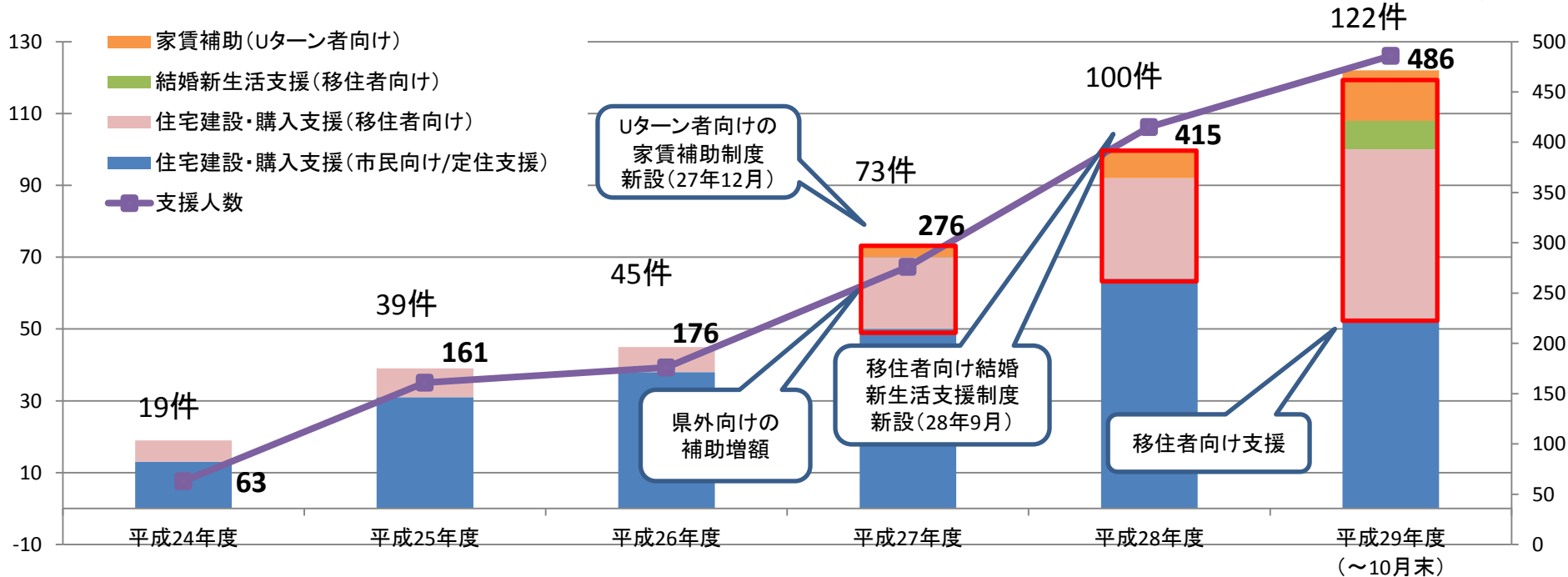
さがえに有料シャワールームを整備



V.移住・定住支援(住宅支援等)



寒河江市における住宅支援実績



主な移住・定住支援

- ・**ハローワーク寒河江との連携**: 企業ガイダンス(東京)の共催 等
- ・子育て定住住宅建築事業: **移住者・定住者向け住宅建築・購入の支援**(中古住宅購入含む/**子育て世代や移住者には手厚い支援あり**)
- ・定住促進賃貸住宅家賃助成事業: **Uターン者向けの家賃補助**
- ・奨学金返還支援事業: 県と連携した支援に加えて**市独自の若者夫婦向けの奨学金返還支援**
- ・結婚新生活支援事業: **経済的理由で結婚に踏み出せない若者回帰支援(市内への引越し対象)**

V.移住・定住支援(魅力発信・ネットワーク構築等)

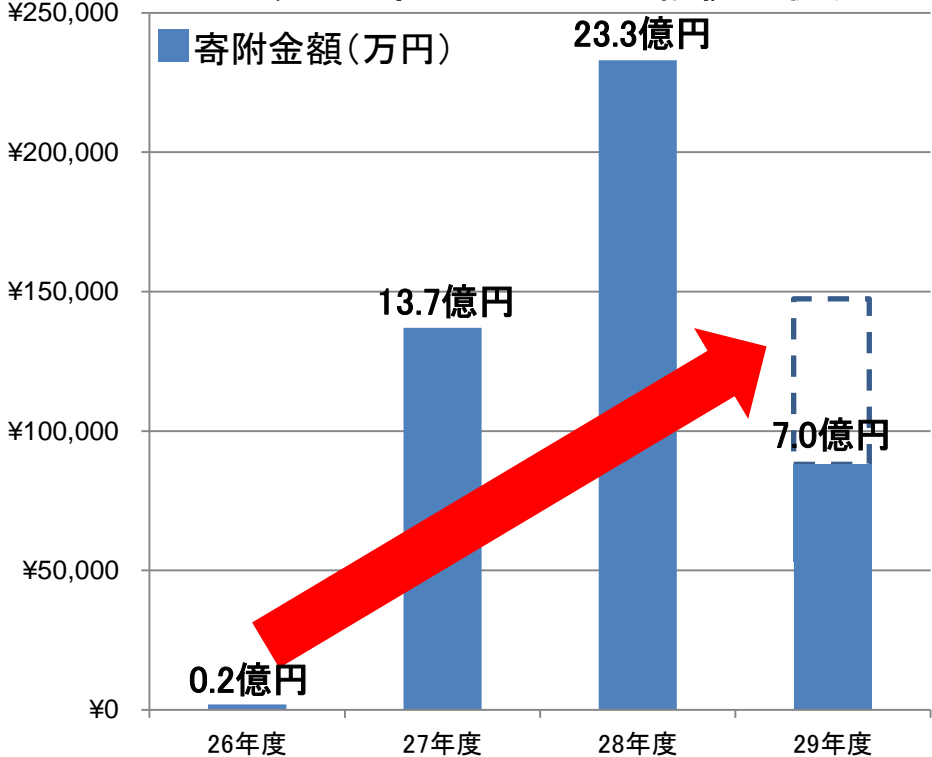


【ふるさと納税】

全国からの寄付を通じた寒河江市のプロモーションを実施

- 26fy: 0.2億円 (940件)
- ⇒ 27fy: 13.7億円 (56,000件)
- ⇒ **28fy: 23.3億円 (95,000件)**

寒河江市へのふるさと納税の状況



【ふるさと会(仙台寒河江会)】

- ・イベント開催(延べ195人参加)
- ※**会員数: 604人**(29年9月末)←382人(21年度)

【観光物産祭り】

- ・ふるさと納税者を主なターゲットとした**観光物産祭り(仙台)を開催**(参加者1,400名招待)

【地域おこし協力隊の活用】

- ・平成25年度: 1名 ⇒ 平成29年9月末: 5名
- ※**観光振興担当、中山間地担当(2名)、魅力発信担当、創業支援担当**

【シティプロモーション】

- ・学校給食の無料化の推進、子育て住宅支援及び保育関連施設の整備など「子育て支援」と連携した**「寒河江は子育てに本気です！」のプロモーションを実施**

※県内外コミュニティー誌への掲載

28fy: 15回/29fy: 14回



VI.結婚支援



・「**結婚新生活支援 × 婚活コーディネーター制度 × 結婚支援活動団体補助**」による
多様な結婚支援**(直接支援＋環境整備)**

【結婚新生活支援事業】

経済的な理由で結婚に踏み出せない若者の回帰を支援する制度(28年9月創設)

対象者:世帯所得340万円未満の婚姻した世帯(≒所得要件を300万円から拡大)

※「どちらかが40歳未満」&「どちらかが転入者」の要件あり

対象費用:引越費用、賃貸の初期費用

支給額:最大30万円(国60%、県20%、市20%負担)(≒支給額を18万円から拡大)

➡ 29fy(10月末):8件実績あり ➡ 転入要件を設けることで、移住支援としても効果

【婚活コーディネーター制度】

定期の情報交換会を実施し、婚活を行う親のサポートや結婚を希望する**独身男女の仲介を行う**

＜婚活コーディネーターの支援による市内での婚姻件数＞

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
3件	1件	8件	5件

※寒河江市婚活コーディネーター登録数:23名

朝日町・大江町との
合同情報交換会を初開催

計17件の婚姻を支援

【結婚支援活動団体補助】

婚活イベント等を開催する団体への補助/イベント参加者数計164名 カップル成立15組

VII. 出産・子育て支援



【妊娠から子育てまでの切れ目のないソフト支援】

- ・ 子育て世代包括支援センターの設置 (母子保健コーディネーターの配置)
- ・ 子育て支援ガイドブックの配布
- ・ 県内で先駆けとなる「産後ケア事業」や出産祝いの「さがえっこハッピーギフト事業」を開始

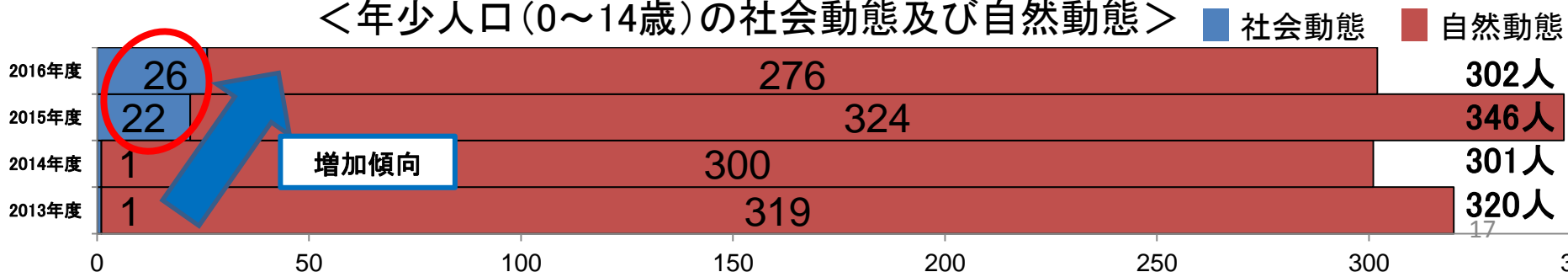
【子ども・子育てインフラの充実化】

- ・ 放課後児童クラブの整備 (28fy:2カ所、29fy:2カ所) 及び にしね保育所の定員増 (30名増)
- ・ 冒険ファンタジーランド(ふるさと総合公園)の完成
- ・ 児童遊園遊具の検査(市内全公園)及び整備

【経済的支援】

- ・ 学校給食の無料化の推進 (小学校:半額助成 & 第3子実質無料化、中学校:一部助成)
- ・ 子ども向け予防接種の助成拡大
⇒ ロタウィルス及びB型肝炎の助成開始/インフルエンザ対象拡大・拡充
- ・ 第3子保育料無料化の対象拡大 (年齢制限撤廃)

＜年少人口(0～14歳)の社会動態及び自然動態＞



VIII.まちづくり

さがえ
未来
創成

都市づくりの方針を定めた都市計画マスタープランを見直し（平成29年3月）

【基本理念/主な取組】

- ・自然空間と調和した、誰もが親しみを持ち、憩いと安らぎを感じる都市空間づくり
- ・定住人口の確保や交流人口の増加に向けた取組み及び安全安心に住みよいまちづくり

・民間の活力を通じた住宅開発

⇒宅地開発補助28fy:4件/29fy上半期1件

・空き家バンク及び空き店舗バンクの活用及び対策

⇒老朽空き家の解体(1件)及び創業・移住支援との連携

・中心市街地の活性化（駅前等のイベント開催及びフローラSAGAE利活用）

⇒ちえり～マルシェ(全12回/延べ参加者8,600人)などの開催

⇒フローラ各階のコンテンツ充実(文化交流広場や屋上の利活用など)

・公共交通ネットワークの拡充

⇒循環バスの本格運用(平成28年12月～)や西川町との連携(西川町営バス)

平成29年度
利活用計画
見直し予定

運行本数
の増加・料
金の値下
げ

特色ある
まちづくり

稼ぐまちづくり及び人が集うまちづくりの実現

VII.まちづくり(地方創生交付金/地域資源を活用したまちづくり)

さがえ
未来
創成

戦略①: 人が集うまちづくりの観点から新たな視点でのまちづくりを推進

戦略②: 子ども・子育てインフラの充実化

森林資源×農産物を活用したまちづくり

【木育・食育フェスの開催】

平成29年2月4日及び5日チェリーナさがえにて開催(参加者数:1,608人)

グッド・トイキャラバン(日本グッド・トイ委員会)を核に木育・食育イベントを開催

第2回(平成29年度)
開催予定(平成30年2月)

木育遊具の
ニーズ調査実施

観光地域づくり

やまがた雪フェスティバルとのコラボ

⇒雪フェス会場近くのチェリーナさがえで開催

子育て環境整備

木育遊具の整備

⇒ニーズ調査を踏まえた遊具を保育園等に整備

産業振興

地元産農産物及び木材の振興

⇒豆糖の試食や木製遊具の販売・PRなど

山形県や山形県木材
産業協同組合が協力



Ⅷ.まちづくり(地方創生交付金/地域づくり(田代地区))

さがえ
未来
創成

戦略：地域づくり支援を通じた地域の拠点化(廃校の利用など)

<田代地区の取組み>

平成20年度：早稲田大学との交流事業(葉山村塾)10周年

平成21年度：地域づくり推進協議会設立及び第1期地域づくり計画策定

平成25年度：田代小学校廃校、廃校レストラン(たしろ亭)の開設及び集落支援員配置

平成26年度：第2期地域づくり計画策定

平成27年度：地域おこし協力隊配置(地域づくり担当)

平成28年度：地元NPO設立(地区半数が加入)及び地域おこし協力隊配置(管理担当)

※住民レストラン：累計2,500人突破、葉山村塾：平成30年度に20周年を迎える

山形県と連携した地域
づくりプロジェクトとして
認定(国の交付金あり)

<地域づくりの拠点化>

コミュニティビジネスを核とした新たな地域づくりの拠点として旧田代小学校を多目的交流館としてリノベーション(平成30年運営スタート予定)

⇒地域外向けの「宿泊+レストランなどのコミュニティビジネス」

⇒地域内向けの「交流」